

桐生市桐生新町重要伝統的建造物群保存地区内への 観光土産施設設置について（新規）

桐生市の観光土産品購入先として、シルクル桐生、桐生観光物産館わたらせ、Think 桐生などがありますが、いずれも重伝建の地区外となっております。

土産品は旅先の名品を指し桐生の魅力を発信する有効なツールとなっておりますが、桐生市が観光に力を入れている重伝建地区での観光土産品購入ができないことは、桐生市の魅力を十分に発信できていない状況にあります。

かつては酒・味噌・醤油を醸造し保管するために使用され、江戸時代から現代かけて舞台や演劇、展示販売、コンサートなど様々な用途に使用されている桐生市有鄰館や、桐生の織物業の繁栄と往時の姿を残し、桐生新町の伝統的建造物の特徴や魅力を身近に伝えることができる建物のまちなか交流館など、重伝建地区での観光土産品購入施設の設置を要望いたします。その際、シルクル桐生は物販機能を有していながら、売上低迷であること、またシルクル桐生の周辺は地元市民の日頃のお買い物の場として機能しており、観光土産の購入地として不向きであることから物販機能を重伝建地区へ移設し、インフォメーション専門の施設とすることを併せて要望いたします。

桐生市からの回答

地区内に観光土産施設があることは、観光客の利便性に繋がるものであり、更なる観光誘客のためにも必要な施設であると考えます。しかしながら、市有施設での物販については制限も多いことから、民間の動きに期待しているところであります。施設の設置につきましては、日本遺産活用室などの関係各所とともに問題点等を整理しながら、研究してまいりたいと考えます。

また、桐生市観光情報センター「シルクル桐生」をインフォメーション専門の施設とするということは、今後のシルクル桐生のあり方を検討していくうえで大変貴重なご意見であると考えております。今後、シルクル桐生における物産販売等の委託事業者である（一社）桐生市観光物産協会とともに、施設のあり方について研究してまいりたいと考えます。

[回答担当] 産業経済部観光交流課観光振興担当